

## 【一太郎 2019 編】

### 脚注番号と脚注参照の番号を連動させるマル秘テク

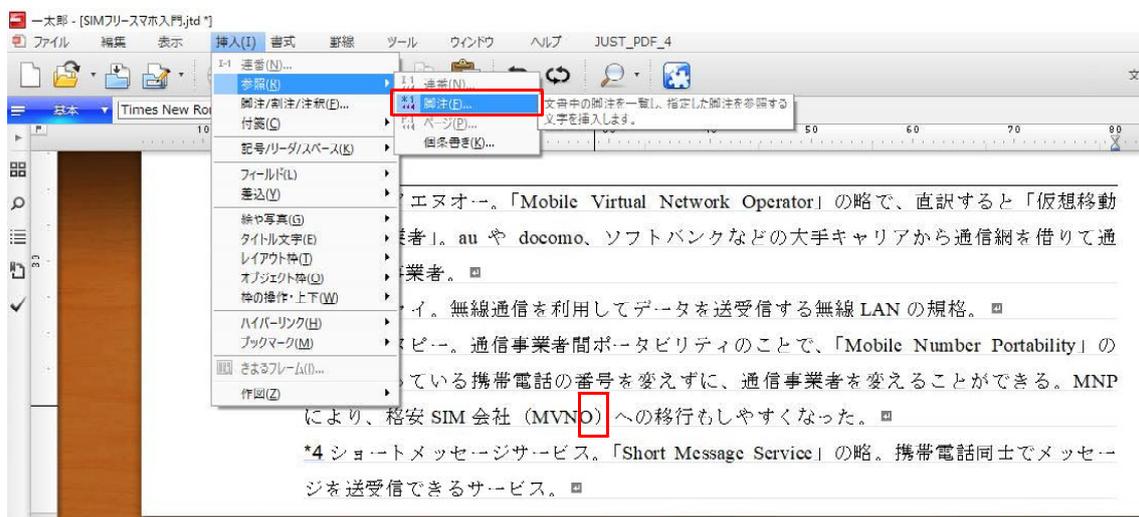
論文やレポートはもとより、オリジナルの小説や自分史などで、本文語句の補足や参考文献を「脚注」として入れることがあります。さらに脚注内で別の脚注に言及するために、該当する脚注の番号を示すこともあります。

こうした場合には、一太郎 2019 で新たに登場した「脚注参照」の機能を活用すると、脚注と脚注参照の番号が連動するようになります。

#### ●脚注に「脚注参照」を挿入する

脚注は、[挿入－脚注/割注/注釈] を選択し、脚注エリアに文章を入力します。

1. 脚注の中の、脚注参照を入れたい位置にカーソルを移動し、[挿入－参照－脚注] を選択します。



2. 参照したい脚注を選んで [OK] をクリックします。必要に応じて [書式設定] で書式を設定します。

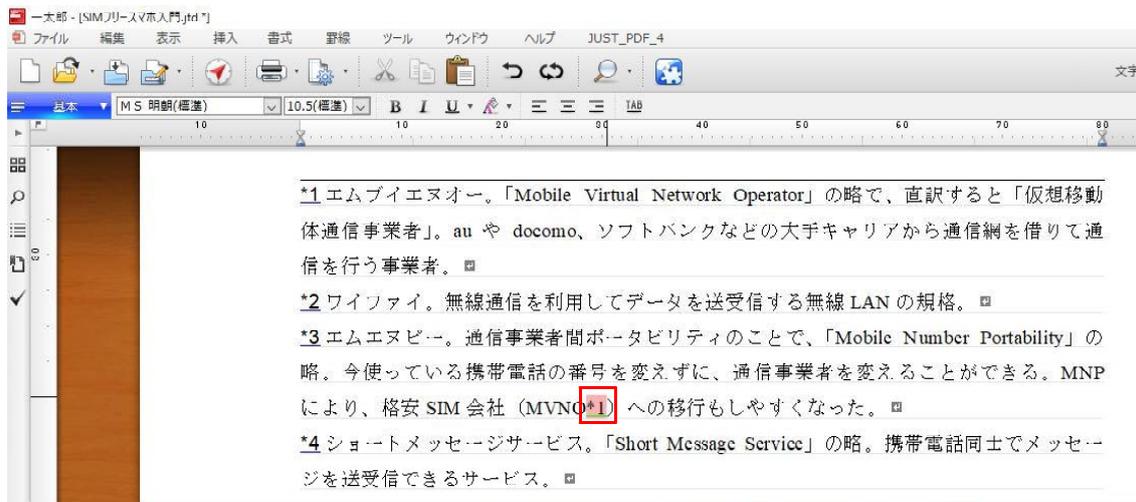
体通信事業者」。au や docomo、ソフトバンクなどの大手キャリアから通信網を借りて通信を行う事業者。

脚注番号	脚注文章
*1	エムブイエヌオー。「Mobile Virtual Network Operator」
*2	ワイファイ。無線の通信を利用してデータを送受信する無線
*3	エムエヌピー。通信事業者間ポータビリティのことで、「Mo
*4	ショートメッセージサービス。「Short Message Service」の

により、格安 SIM 会社 (MVNO) への移行もやすくなった。

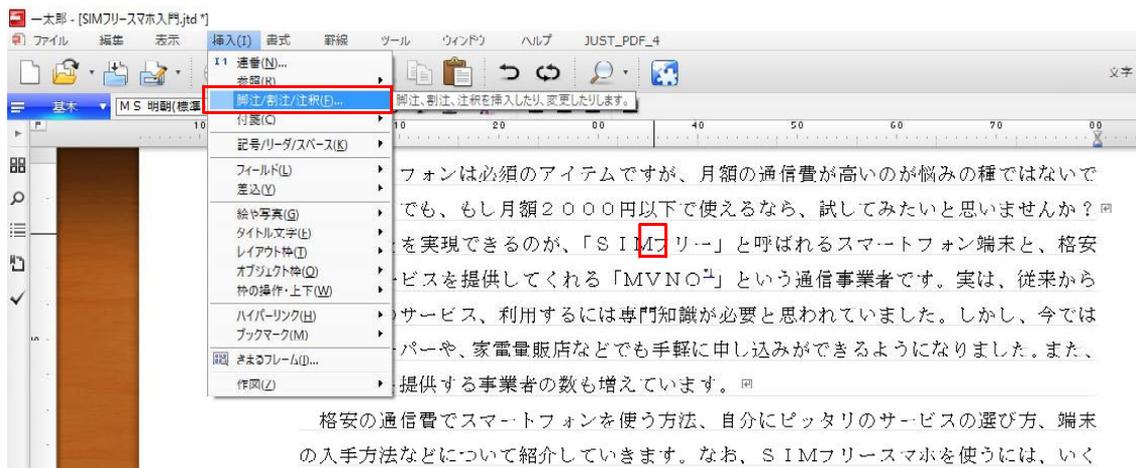
\*4 ショートメッセージサービス。「Short Message Service」の。携帯電話同士でメッセージを送受信できるサービス。

3. 脚注参照として、選んだ脚注の番号（ここでは「1」）が挿入されます。

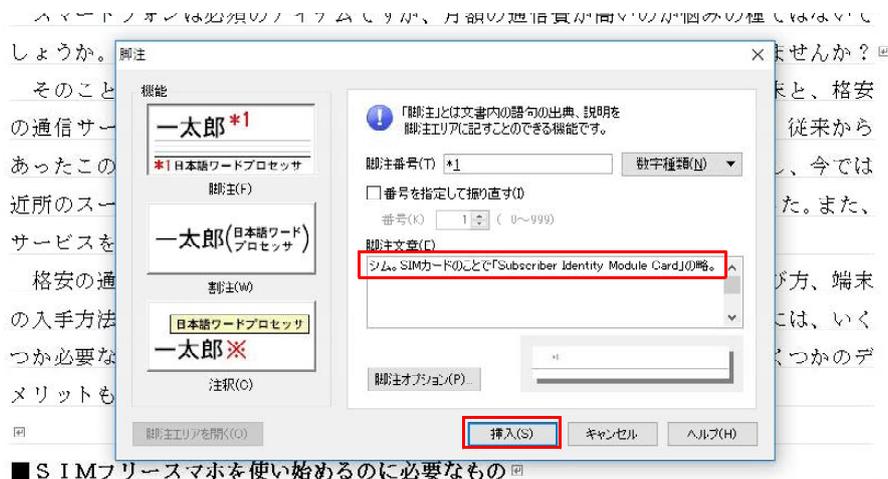


### ●脚注の順番を変えるときは

4. 脚注を追加したい位置にカーソルを移動し、[挿入—脚注/割注/注釈] を選択します。



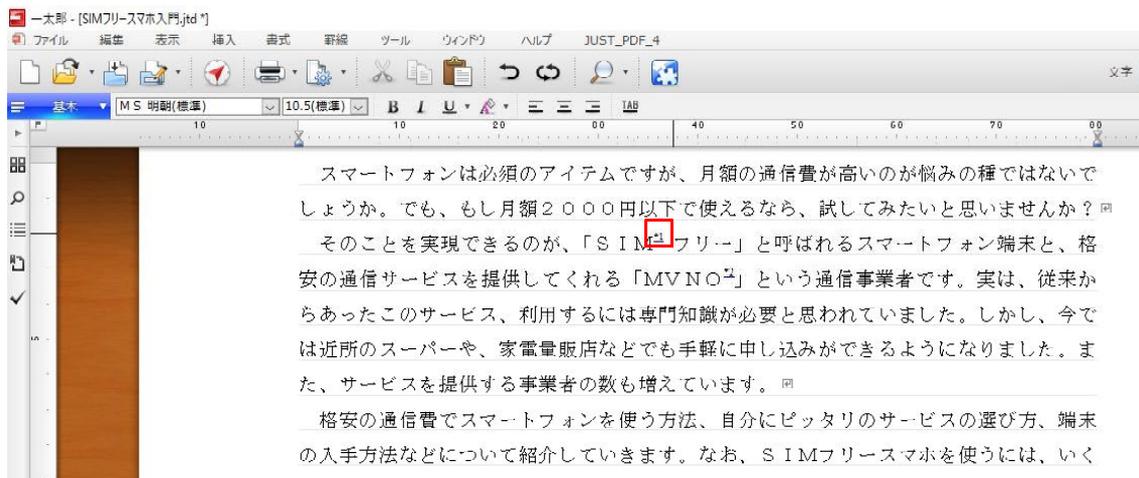
5. 脚注に記載する文章を入力して [挿入] をクリックします。



■ SIMフリースマホを使い始めるのに必要なもの

↓

6. 新たな脚注が挿入されます。



↓

7. 脚注エリアを確認すると、脚注番号が自動的に振り直されています。脚注参照を利用した番号も自動的に変わります。他の脚注を削除した場合にも、正しい脚注番号に変更されます。

※脚注や脚注参照は、ツールパレットの [文書編集] パレットからも設定できます。

